

麻生リハビリ総合病院だより



結生会 理念

常に最善を飽くことなく追求し 質の高い安心の医療を提供する

「ユマニチュード」技法習得に向けた取り組み

当院では2023年春から「ユマニチュード」への取り組みをスタートしました。ユマニチュードの導入により、「患者様・全スタッフがお互いを尊重し、生きがい、やりがいを感じられる病院にする」ことを目指しています。

多くの多職種のスタッフを対象に「ユマニチュード実践者育成 4日間研修」の受講を進めており、ユマニチュード技法の習得に向けた演習の様子をご紹介します。

見る



話す



触れる



立つ

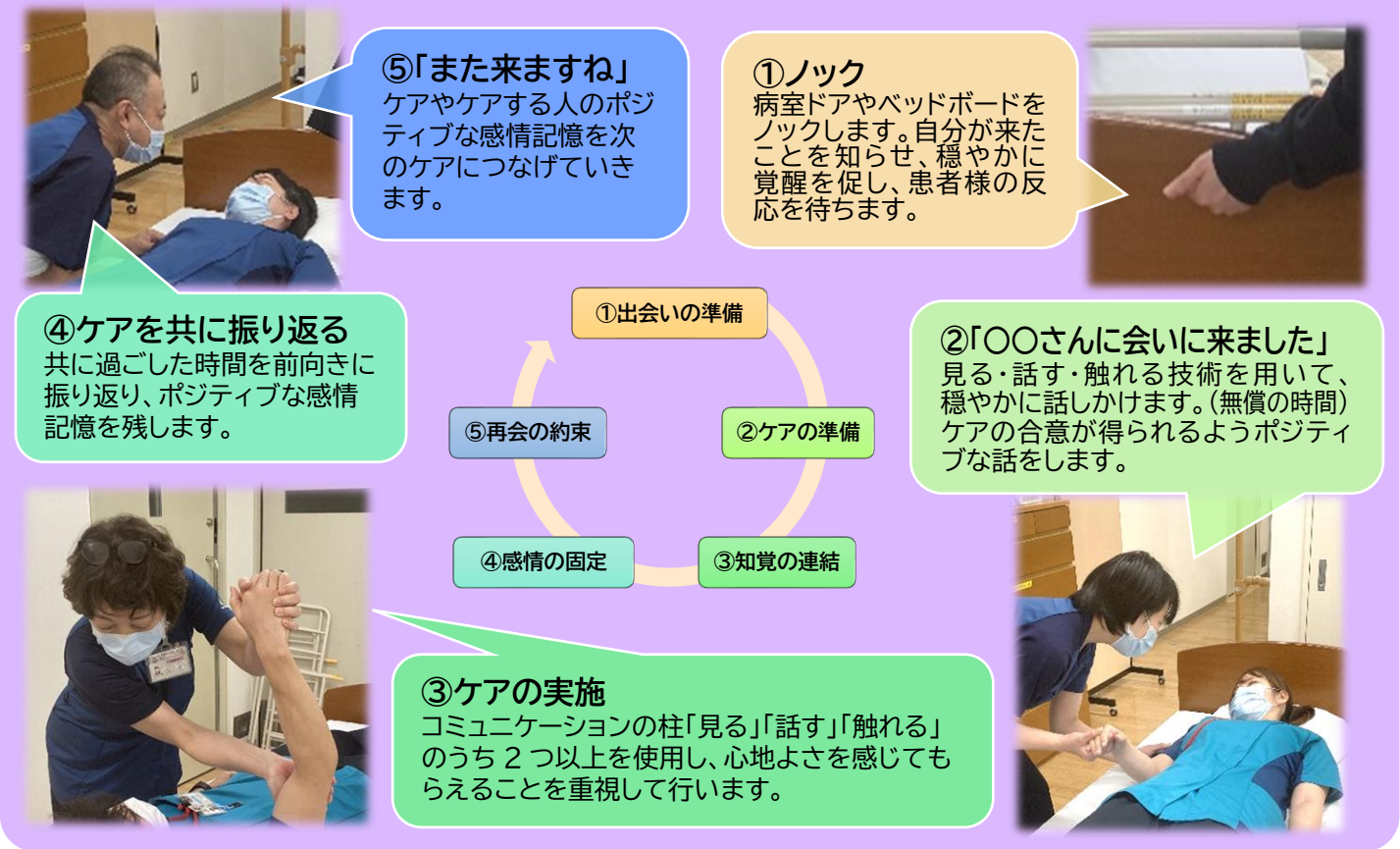


「ユマニチュード」では、4つの柱「見る」「話す」「触れる」「立つ」の技術を組み合わせてケアを行い、ケアを通して「あなたを大切に思っています」というメッセージを届けます。
ケアを受ける人にメッセージが伝わるよう、職員が患者役を体験することで技術の習得に役立てます。

5つのステップの演習

①～⑤の順番で物語のように一連の流れでケアを届ける技法です。

ユマニチュードの哲学は「人は、人に認められることで、その人らしくいられる」というシンプルなもの。この哲学を実現するために、「4つの柱」と「5つのステップ」という技術を使います。
この技術を複合的に使用することで、ケアを受ける人とケアをする人が良好な関係を結ぶことができるとされています。



5月12日は看護の日

当院では5月11日(土)に「看護の日」イベントを開催いたしました。
 看護の日は、近代看護の母フローレンス・ナイチンゲールの誕生日(5/12)にちなみ、
看護の心・ケアの心・助け合いの心を育むきっかけの日として設定されました。
 また、毎年5月12日の週を看護週間としており、地域の方々にも当院の看護ケアについて知っていただくイベントを計画しています。



今年のテーマは『健康相談』

～職員の専門性を活かした相談コーナーを設置しました～



骨粗鬆症マネージャーによる骨相談
 10年後の骨折リスクをお調べしました！



管理栄養士による栄養相談
 高栄養補助食品の紹介や試供品のお土産配布も！



看護師による健康相談
 認知症ケア専門士・排尿ケアチームによる相談受付
 日頃気になっていること、困っていることの相談、お薬に関するちょっとした疑問にお答えしました！



イベント当日に合わせて、各病棟が患者様と取り組んだ壁面制作を展示しました。四季が感じられる色とりどりの作品で院内がとても華やかになりました。



院内レクリエーション委員が中心となり、長い入院生活の中でも季節を感じられるよう、折り紙やちぎり絵などで工夫を凝らした制作を季節ごとに企画しています。

技能実習生等、多様な人材が協働しています

看護部においては、本年ダイバーシティ※対応により多様性を考慮した人材を受容しています。現在、外国人の技能実習生2名と看護補助者3名が就労しており、言語・文化・習慣・教育背景の違いなどから様々な“気づき”を得ています。

2024年6月の診療報酬改定でも「医療・介護の人材確保・働き方改革等の推進」が重点課題とされており、看護部としても多様な人材が活躍できる職場環境の整備を進め、人材確保と看護・介護の質向上に尽力しています。

※人々の性別、年齢、国籍などの違いを尊重する考え方や状態。



2024年4月入職 医師紹介

リハビリテーション科

鈴木 涼平
 すずき りょうへい



・日本リハビリテーション医学会
 リハビリテーション科専門医
 ・義肢装具等適合判定医

- ①千葉県浦安市
- ②冬
- ③レース用の水着(5万円)
- ④ゴーグル
- ⑤プール
- ⑥泳ぐ
- ⑦みかん
- ⑧走る事全般・球技



8つの質問で紹介させていただきます。

- ①出身地
- ②好きな季節
- ③今、1番欲しいもの
- ④これがないと困る！もの
- ⑤好きな場所
- ⑥好きな時間の使い方
- ⑦好きな果物
- ⑧苦手なもの・こと

特集 地域の皆様とのふれあい

麻生川桜まつり

当院の最寄り駅である柿生駅、その付近を流れる麻生川には桜並木が広がっており、桜の開花時期に合わせ、毎年「麻生川桜まつり」が開催されます。今年は3月30日(土)が開催日となり、当院も麻生総合病院と合同で、体組織計「InBody」を使用した健康チェックコーナーを出店しました。検査結果は理学療法士が確認し専門的なアドバイスを行いました。皆様、真剣に耳を傾けており健康意識の高さが伺えました。今年は開花が遅く、桜舞い散る中でのイベントとはなりませんでしたが、たくさんの方々にご参加いただきました。

一部開花している場所で
記念撮影



いきいき健康フェア

3月8日に、川崎市麻生老人福祉センターで「いきいき健康フェア」が開催されました。当院からは理学療法士4名が参加し、片足または両足でどの高さから立ち上がれるかを測る「立ち上がりテスト」、何秒間片足で立っているかを測る「片足立ちテスト」、歩行能力やバランス能力、動作の素早さなどを総合的に判断する「TimedUP&GoTest」を担当し、たくさんの方々にご説明させていただきました。また、この他にも骨密度検査や転倒予防になる体操教室なども開かれ、にぎやかなフェアとなりました。



片足立ちテスト

TimedUP&GoTest

立ち上がりテスト

診療実績のご報告

【直近6ヶ月(2023年10月~2024年3月)の診療実績報告です】

在宅復帰率(退院先内訳)

在宅復帰	退院先	2023年10月~2024年3月	
		人数	割合
	自宅	310人	69.7%
	特別養護老人ホーム	8人	1.8%
	有料老人ホーム	35人	7.9%
	介護医療院	1人	0.2%
	高齢者向け住宅等	11人	2.5%
	慢性期病院	6人	1.3%
	介護老人保健施設	52人	11.7%
	その他	22人	4.9%
	合計	445人	100.0%
	一般病棟への転院	25人	5.6%
	在宅復帰 合計	365人	82.0%
	その他：他科への転棟(一般病棟除く)など		

回復期リハビリテーション病棟入院料Iの実績要件

回復期リハビリテーション病棟入院料Iの実績要件	当院の診療実績
リハビリテーション実績指数	40以上 57.8
自宅等に退院する割合	70%以上 82.0%
重症患者の割合	40%以上 46.9%
退院時の日常生活機能評価(FIM)6点)以上改善割合	30%以上 71.6%

当院の診療実績は、すべての項目で施設基準を上回り高い水準となっております。今後も、患者様に質の高い医療・リハビリテーションをご提供できますよう取り組んでまいります。



ご存じですか？ ロコモ健診



「ロコモティブシンドローム(ロコモ)」とは？

年齢を重ねることによって、立ったり歩いたりといった“運動機能”が低下した状態をさす言葉です。運動機能の低下は、支援や介護が必要となる原因の第一位とされており、健康寿命に大きな影響を与えることがわかっています。当院の「ロコモ健診」では、経験豊富な理学療法士が、身体機能や歩行能力を総合的に評価し、ロコモの早期発見や適切な予防ケアに努めております。

ロコモ度を判定します

「ロコモ25」アンケート

簡単な問診を行います。身体の状態や生活の状況を調べます。



不安に思っていることなどマンツーマンでお話しをお伺いします

理学療法士によるカウンセリング



歩幅によってロコモ度を測定します

ツーステップテスト



立ち上がれる高さにより、下肢筋力を測定します

立ち上がりテスト



筋肉量や脂肪量、基礎代謝を測ります

In-bodyによる体組成測定



歩き方の“バランス”や“かたより”をチェックします

歩行分析



結果のご報告

総合的に判定し個別のアドバイスや運動プログラムをお伝えします



ロコモ健診・体操教室のご予約は・・・
044-981-6832

受付時間：9:00～16:00(月～金曜日)

ロコモ健診実施日：毎週金曜日 14:00～

当院
理学療法士
主催

体操教室 毎月開催中！

予約受付中
お気軽にお問合せください

